

「これからの小・中学校施設」の概要

- ✓ 文部科学省では、小・中学校学習指導要領の改訂や社会状況の変化等に対応するため、平成22年3月に小・中学校施設整備指針を改訂*。
- ✓ 上記指針改訂についての理解を高め、各地における学校施設づくりの参考となるよう事例集を作成。

* 改訂のポイント

- ・多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
- ・理数教育環境の充実

- ・情報環境の充実
- ・家庭・地域と連携した施設の充実
- ・環境面からの持続可能性への配慮
- ・屋内運動施設での快適な環境づくり

紹介事例

身近な空間に情報環境を整備

流山市立 小山小学校 (千葉県)

校内無線LANの導入により校内どこでも調べ学習が可能に



実験・観察のための環境づくり

多摩市立 多摩第一小学校 (東京都)

観察・実験が充実して行える施設環境が整った理科教室



快適な体育館を整備

神戸市立 玉津第一小学校 (兵庫県)

室内外の気圧差を利用した換気システムを設けた体育館



地域の人も利用できる施設づくり

滑川市立 西部小学校 (富山県)

地域に開放された会議室



発達段階に応じた多目的教室の計画

武蔵野市立 大野田小学校 (東京都)

学年ごとに異なる特徴のある多目的スペース



充実した武道場を整備

長岡市立 東中学校 (新潟県)

体育館に隣接し、畳が常設された武道場



図書室と連携したコンピュータ室の計画

熊野市立 有馬中学校 (三重県)

図書室に隣接したコンピュータ室で、本を見ながら調べものができる



環境負荷の低減を考慮した施設

下関市立 豊北中学校 (山口県)

校舎への採光・通風を確保した中庭



地域の暮らしや活動に開放された空間

福井市立 至民中学校 (福井県)

地域の人も利用できる音楽室



多様な学習活動のための空間づくり

横芝光町立 横芝中学校 (千葉県)

少人数学習に活用できる小空間

